

捕鯨が残した写真に見る20世紀初頭の朝鮮半島

宇仁義和 (東京農業大学 教授)

1. 近代捕鯨と風景や町並み 人々の写真

ノルウェー発祥の近代捕鯨は 東アジアではロシア極東から朝鮮半島にかけての日本海西部の沿岸部で1890年頃から始まった 少し遅れて日本企業も朝鮮半島沿岸で操業に着手する 1890 - 1900年代のロシアや日本の捕鯨企業では 捕鯨砲を操作する砲手はノルウェー人の仕事だった 給料が高く裕福だった彼らはカメラを持ち 当時としては珍しい地方の風景の写真や町並み 人々の姿を記録した 本論は 砲手や鯨類研究者が残した興味深い写真を紹介するとともに この場を借りて撮影地や被写体が不明となっている写真について共有し 情報の追加を求めるものである 加えて 日本の捕鯨企業の砲手1号となった人物の目録に現れる地名についても紹介する

2. ヘンリク・メルソム

ヘンリック・メルソム Henrik Govenius Melsom 1870 - 1944 は 捕鯨砲を発明したスベン・フォインの捕鯨事業に参加したあと 1897年にウラジオストックに移りケイゼルリンク伯爵のロシア太平洋漁業会社で砲手として働き 7年を過ごした 日露戦争時に一時帰国したが 自ら捕鯨船を購入して1906年から日本企業に傭船され朝鮮半島沿岸の捕鯨に従事し 1912年にノルウェーに帰国した その後 スリップウェイの開発など捕鯨関連の事業家として活躍した

[illegible]

紹介する写真は ノルウェー王国ベストフォル県アーカイブ Vestfoldarkivet が保存するメルソムのガラスネガ約190枚から朝鮮海捕鯨や朝鮮 そして日本の写真である 写真の元所有者は メルソンの次女で長崎生まれのシングリッド Sigrid Govenius Melsom 1903 - 2001 であった 日本を含めた極東地域に関連すると判断した写真は52枚であった 被写体には 朝鮮の伝統的な民家 ノルウェー人砲手たちと朝鮮人 日の丸が多数翻る朝鮮の港 ノルウェー人と日本人の船上記念写真 福岡の日蓮聖人銅像 松林のなかの病院 日本人看護婦 神社や寺院などが含まれる

3. ロイ・チャップマン・アンドリュース

ロイ・チャップマン・アンドリュース Roy Chapman Andrews 1884 - 1960 は 1920年代にモンゴルを調査した中央アジア探検 the Central Asiatic Expeditions を率い ゴビ砂漠で恐竜の卵を発見した野外研究者である アンドリュースの研究者としての経歴は鯨類に始まる 日本には1910年に滞在し 東洋捕鯨の紀伊大島(和歌山県)や鮎川(宮城県)の事業場で調査を実施 朝鮮には1912年に訪れ 蔚山でコクジラの調査を行なった後に朝鮮探検 The Korean Expedition に向かった

朝鮮探検の経路は釜山から船で日本海を北上し 朝鮮半島北東部に位置する清津に向かい 豆満江を遡り白頭山山麓を抜け 鴨緑江を筏(いかだ)で安東(丹東)まで下るといふ 朝鮮半島の付け根を東から西に横断するものであった 途中 立ち寄った町や村は 富寧(ふねい) 茂山(むさん) Nonsatong [農事洞か] 普天(ふてん) 恵山鎮(えさんちん) 新■[加の下に 乙]坡鎮(しんかるばちん)などで また白頭山麓の湖である三池淵を訪れている 朝鮮半島北部奥地の写真は おそらくこの地方で唯一となる1910年代の画像記録と思われる

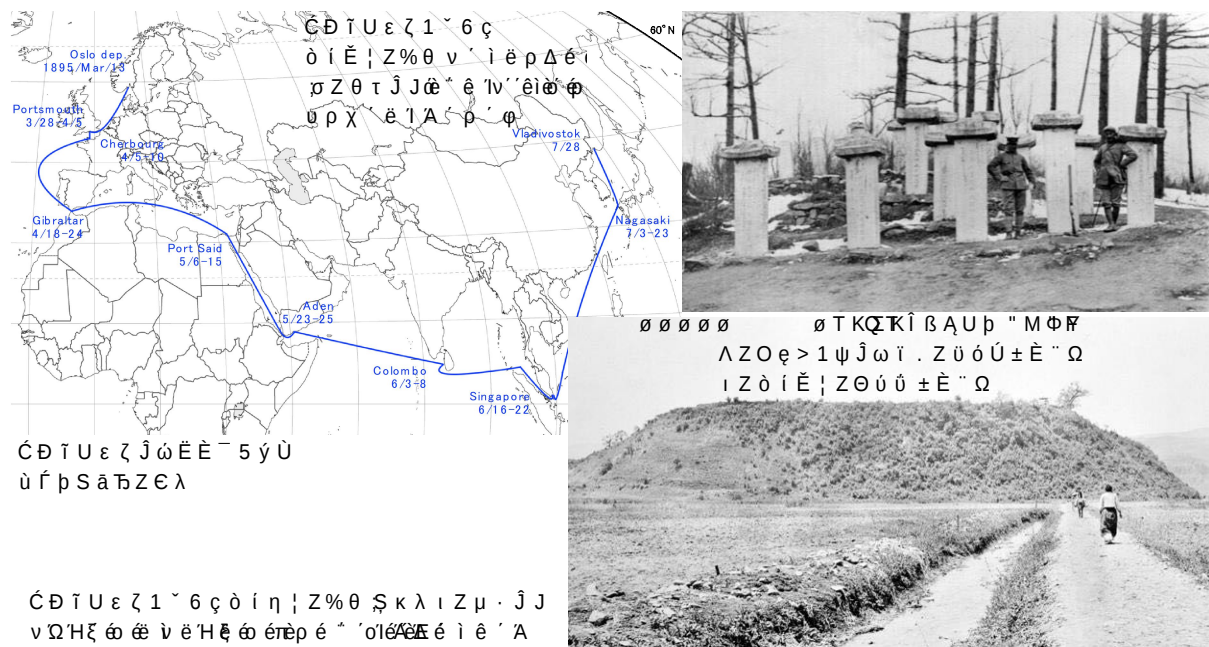


4. エー・エー・ワルビー

A. A. ワルビー Anders Andersen Walby 1846-1931は「本邦の諾威式捕鯨誌」(明石 1910)の記述から日本の捕鯨会社の砲手第1号として知られる。ワルビーについては、日誌がベストフォル県アーカイブに現存する。内容は、ノルウェーで捕鯨船を調達して出港、地中海からスエズ運河を抜けインド洋そしてマラッカ海峡を抜けロシア極東にいたる航海、ウラジオストク近郊でのロシア企業の捕鯨基地建設と朝鮮沿岸での操業、日本での休日と捕鯨船建造の顧問などを含む。日誌には朝鮮の地名が現れるが所在地や内容については不明である。彼が撮影した写真は知られていない。

5. 撮影地や被写体の情報募集





参考文献

- 明石喜一編(1910)本邦の諾威式捕鯨誌. 280+40pp., 東洋捕鯨, 大阪.(復刻版: マツノ書店 1989)
- Andrews, R. C. 1912a. An Expedition in Korea. The American Museum Journal, 12(6): 207 - 213.
- Andrews, R. C. 1912b. An Exploration of Northeastern Korea. The American Museum Journal, 12(7): 259 - 267
- Andrews, R. C. 1916. Whale Hunting with Gun and Camera. D. Appleton, New York, 322pp.
- 宇仁義和・ロバート=ブラウネル・桜井敬人. 2014. ロイ・チャップマン・アンドリュースの日本と朝鮮での鯨類調査と1909 - 1910年の日本周辺での行程. 日本セトロジー研究, 24: 33 - 61.
- 宇仁義和. 2015. ロイ・チャップマン・アンドリュースの鯨類調査と下関 - 東洋捕鯨の蔚山事業場における捕鯨事業を中心として. 下関鯨類研究室報告, 3: 15 - 27.
- 宇仁義和. 2017. ノルウェーに保存されていた20世紀初頭の朝鮮半島沿岸の捕鯨の写真. 日本セトロジー研究, 27: 9 - 16.
- 宇仁義和 & トルスティン・ショーボル. 2022. 日本最初の砲手ワルビーの航路と極東での活動1894 - 1900. 日本セトロジー研究会第32回大会. 富士. ポスター発表.
- 박혜린 & 우니 요시카즈. 2015. 로이 채프만 앤드류스, 한국에서의 발자취. 장생포고래박물관, 울산. 199pp [朴ヘリン・宇仁義和. 2015. 로이・チャップマン・アンドリュース 朝鮮での足跡. 長生浦鯨博物館, 蔚山. 199pp.]

K o r e Paenn i n i s t u h p e a o t o g t r a a k p i e n s a r 2 l 0 y t l e n t u r y
b y w h a g l e n n æ n n s h a r l e s e a r c h e r s

U N Y o s h i (k ā a l y n d v e o r A s g i r t i y c ū ā p e

T h ā s t d i e s l e p h i b e s g a k i p h o s r b e a t w l e 8 e 9 n 1 d 9 1 2 N o r w e g h i a a l r e t i l ā e
A m e r i r e a s r e a W e l i é r a p a l i e d l t t h e y n e d m e a r r a t s o p k o t o g r f l a o p c h a s l n d s
c i t y s a c n a p e o s w h e i w a s n u s a u t a h t e i n S e o m e f t h e p s h e o t o g h a a p h k s n d w a a d i n
s u b j æ r c l o v s u l l i d k e e q u i e s b r o n a t h e a s l e o y n i g t h p e l a n c a e n e s n k n o w a a d p i p e
i n h l e o g b o o f o h k e i w l s a g l u e n m e f r h s e a p a v l e a s k e i o m g p a n i e s .